

友の会

会
報



目次

CONTENTS

新年のご挨拶.....2

川俣勝慶会長

大井川和彦茨城県知事

年の初めに思うこと.....4

支部の動き.....12

知っていますか.....22

遺言って何？

事務局だより.....24

美術展開催のお知らせ.....26

茨城の豆知識.....27

表紙写真

前夜から降り始めた雪が公園の木々に積り、凍えた気温が咲かせた冬の華です。ここは、自然と芸術が融合したテーマパーク「笠間芸術の森公園」。丘の頂には霧氷に囲まれた陶芸美術館が輝いて見えます。この公園のある丘かつての「物見峠」周辺は子供時代から遊び親しんだ所で、郷愁をそそる今日の光景に感謝しながら撮影しました。

(写真・文 岸友の会フォトクラブ会員

野村 憲一)



新年のごあいさつ

茨城県庁友の会会長 川俣 勝慶

あけましておめでとうございます。

茨城県庁友の会の会員の皆様には、ご家族ともども健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は台風第19号等により被害を受けられました会員の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、県では、大井川知事が就任3年目を迎え、県計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県づくり」の実現のため、自らが先頭に立って、次世代自動車などの成長分野の企業誘致や緊急性の高い医師の確保などにスピード感をもって取り組みますとともに、賛否両論があったLGBT（性的少数者）のパートナー制度の導入や偕楽園の有料化、保健所の再編・統合などの課題につきましても知事の果敢な挑戦が実を結んでいると認識しているところです。

9月から10月にかけて令和最初の「第74回国民体育大会」が本県で開催され、多くの方に夢や感動を与え、昭和49年の茨城国体以来45年ぶりに天皇杯・皇后杯を獲得するなど未来への飛躍に繋がる大会となり、大きな成果を収めたのではないのでしょうか。また、県内各地で

本県の特産品や観光などをPRする会場を設け、心のこもったおもてなしにより、多くの方に本県の魅力が伝わってくれたと願っています。

一方、「第19回全国障害者スポーツ大会」は、台風第19号の接近で安全第一に考え中止になり、開催に向け懸命に努力してこられた選手、関係者の皆様の願いが叶わずとても残念に思っています。

10月に発表された都道府県魅力度ランキングでは、本県は残念ながら令和元年度も最下位で7年連続となったわけですが、「住みよさランキング」や「幸福度ランキング」では本県は全国11位となっており、魅力度ランキングの結果が、豊かな自然、食や観光、首都圏の近接性、暮らしやすさといった本県の魅力の実態を十分に反映されてはいないようです。私たちは、このことを強く意識して「本県のよさ」をPRしていく必要があると考えます。

さて、県庁友の会は来年の令和3年度に設立50周年を迎えます。このため、記念事業を企画するための検討会を設置し、検討を始めたいところです。

県庁友の会は、昭和40年1月に元県職員の間睦団体（県一円）として発足しましたが、

実質的には元管理職の集まりになっていました。そのため、45年に友の会の発展的改組について検討し、県を退職した職員は何人も入会できる会として、昭和46年9月に現在の「茨城県庁友の会」に改組され、この日から起算して50年という長い歴史を迎えるわけです。

友の会を取り巻く環境ですが、これまで人的・財政的支援いただいた「県庁友の会保険センター」からの支援はなくなり、令和元年度から友の会の運営は、会員の会費収入額を基本とする予算編成をしたところです。しかし、会員数は平成21年度2,647人をピークに物故者や退会者が新規の加入者を年々上回り、令和1年11月末では2,087人まで減少してきております。

会の事業運営を維持するには、会員の確保が喫緊の課題でありますので、昨年役員改選に併せ、各支部長全員を副会長とする組織強化を図るとともに、誰もが気軽に参加し、楽しく活動ができるような魅力ある友の会を目指し、事務事業の見直しや会員の加入促進などについて組織を挙げて検討しております。

そして、創立50周年を迎える友の会がこれからも茨城県で苦楽をともにしてきた仲間の親睦団体として維持発展できるよう、会員の皆様には、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、会員の皆様をはじめ、ご家族の皆様が健康ですばらしい年となるようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



新年のごあいさつ

茨城県知事 大井川 和彦

新年あけましておめでとうございます。

茨城県庁友の会会員の皆様方におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和初の国体「いきいき茨城ゆめ国体」で、45年ぶりに天皇杯・皇后杯を獲得するなど明るい話題がある一方、相次いで発生した大型台風により、本県は甚大な被害を受けました。

被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災者の皆様が一日も早く心安らぐ生活を取り戻せますよう、引き続き、全力で復旧・復興に取り組んでまいります。

さて、人口減少や少子高齢化、デジタル経済の進展などにより、社会情勢が急速に変化する中、私はこれまで、茨城も変わらなければ未来に希望はないとの危機意識を持ち、「スピード感」と「選択と集中」を信条に、困難

な政策課題にも臆せず取り組んでまいりました。

例えば、質の高い雇用の創出に向けた戦略的な企業誘致では、成長分野の本社機能等の誘致を数多く実現し、喫緊の課題である医師確保についても、明確な目標を掲げ推し進めることで、取り組みが結果に結びついてきております。

また、国内外からの誘客促進に向けて茨城空港や港湾の利用拡大に取り組み、新たな国際線の定期便や連続チャーター便の開設、外国クルーズ客船の新規就航など、夢・希望に繋がる成果もあがってきております。

さらに、将来の茨城を支える人財を育成するため、中高一貫教育校の設置を推進するとともに、儲かる農業の実現に向け、農産物等の茨城ブランドの確立、輸出拡大にも力を入れていくところです。

一方で、まだ実績をあげるに至らない課題

も残っております。このため、本年は、これまで打ち出してきた政策を、よりスピード感を持って推し進めていくとともに、絶えず効果検証を行い、軌道修正が必要とあらば、躊躇せずに見直しや追加の対策を実施し、新たな課題に対しても積極的に対応してまいります。

今年はいよいよ東京オリンピックのサッカー競技が本県で開催されます。これを契機に、茨城の魅力を世界に発信するとともに、引き続き1人でも多くの皆様に、「茨城県、ワクワクするよね」と感じていただけるような「活力があり県民が日本一幸せな県づくり」に挑戦してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

茨城県庁友の会会員の皆様方には本年もお元氣にご活躍いただき、実り多き素晴らしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。





年の初めに思うこと

新たな年を迎えて思うことは……

ふと脳裏に浮かぶ懐かしい思い出、今も続く故郷の風習、新たな年への期待、今年こそはという抱負……

友の会会員のそれぞれの思いを披露していただきました。

(文中の①は退職年 ②は退職時部署)

野菜作りをはじめました

①平成九年 ②国際交流課



水戸支部
安藤 求

私の小さな畑にキャベツ、大根、白菜等十種類程の野菜が育っています。この畑は家内が近くの農家から借りて作付していたのですが、家内は母親の介護に追われて手がまわらなくなり、後を私が引継ぎました。近くの畑で旧県職員や会社を辞めた方達が野菜作りをしています。経験豊かな彼等から苗をいただいたり、機械で耕していただいたり何かにつけ教えを受けています。時にはスイカ、ナス、オクラ等の生産物を分けていただいたりもします。高齢者クラブの役を退き時間に余裕ができたので、天気の良い日はほとんど毎日畑に出ています。膝が悪く長年整形外科で治療を受けているのですが畑に出ると不思議に動けるようになります。折角植えた苗を虫に食われたり、収穫間近の野菜が風雨にだいたしになることもあります。立派に成長した野菜を手にした時の喜びはなんとも言えません。

残された人生、できるだけ元気でいられよう野菜作りを続けます。

七度目の子年迎ふる禿鼠

①平成九年 ②畜産試験場



水戸支部
鹿熊 俊明

昭和四四年に外国へ種頭購買。全日本豚共進会对策委員として茨城が優勝した。試験場から四九年教育普及課に赴任、行政二等級に昇格してタイムカード刻印機に名前が掲載、三か月ほどで刻印機が外された。五八年四月、畜産課に赴任して系統豚ローズの活用を最初に考えた。茨城県銘豚振興会規約、「茨城県銘豚生産モデル事業実施要領」など作成した。ローズはすでに米国業者が先願意匠権を持っていたが、譲渡して貰ってローズボークの意匠登録が出来た。豚肉補償事業で助成金が一億円を越えたので知事説明を避けるために債務負担行為で一難を去ったことがあった。その後、畜産試験場を最後に奉公を終えて農林漁業金融公庫（日本政策金融公庫）に七年間いて瑞穂農場（顧問）に平成二六年まで一〇年務めた。「みずほ農場教育財団」を設立。現在は同財団の評議員。将来の目標は百歳まで生き、「びんころ」だね。令和元年度茨城県芸術祭文学賞に句文集「八百万の神」がノミネートされた。今年はこのことを「私の起想」にまとめたい。

七回目の子年を迎えて

①平成七年 ②漁政課



水戸支部
山田 静男

二回目の子年の頃、三センチほどの鹿島灘ハマグリが銚田京智釜海岸で一平方米一三〇〇個、鹿島灘汀線の多い所平均三〇〇個、まさに石ころ同然の出現、ハマグリの大発生である。水産試験場職員としての経験である。その資源が母体となり、後にピーク時一萬トン、日本一のハマグリ産地となり近年まで続いた。その頃はサンマも豊漁で那珂湊の出航祭には学校も休みになるなど地域全体が賑わっていた。霞ヶ浦はワカサギ漁が全国一で帆曳網漁の白い帆は霞ヶ浦の風物詩ともなっていた。

四回目の子年の頃は、本県の旋網漁業が、一〇〇万トンをピークに前後二〇年ほど日本有数を誇っていた。北部太平洋の真鯛の大漁である。

海での魚貝類の大量発生要因は諸説あるがよくわかっていない。しかし本県沖合は過去の例を見れば、魚貝類の大量発生が明日にでも起り得る豊穰の海、キャパシティを持っていくことになる。またいつの日か海の恵みを待ちたいものである。

老初の趣味

①平成二十一年 ②リハビリテーションセンター

水戸支部
大籠 広幸

継続している趣味の一つに里山巡りがあります。頻度は月1回から2回程度、コースは主に県内、2つの集まりに参加、一つは現地集合型で弁当持参、集合場所が結構わかりにくいのでネット検索、確認が欠かせません。もう一つは定地集合・バス移動型で食事付、至れり尽くせりだが費用が掛ります。いずれも地形・樹木・草花などの自然環境に触れることやおしゃべりでリフレッシュできます。また、巨樹を巡る会では、県内はもとより隣接各県にまで有名な樹木を訪ね歩きます。それぞれ老年期、壮年期などの成長過程や生きた証があり、興味深いものがあります。そのほか、新聞・市報・ネット等で情報収集し、野鳥・植物・ジオ（地質・地層）観察、歩く会、ノルディックウォーク等にも参加しています。終わりに、県庁友の会では、園芸クラブ、囲碁クラブに所属しています。いずれも会員減少に悩んでいます。皆様のご参加（70才でも遅くない。）をお待ちしています。

人生は明るく楽しく

①平成二十七年 ②監査委員事務局

水戸支部
小沼 均

数年前から早稲田大学のオープンカレッジに週一回通っている。きっかけは、その当時に雑誌で、脳の前頭葉は考えたり判断したりという日常の刺激が少なくなると働きが衰えていき、そうになると、怒りっぽくなったり、乱暴な言動が目立つようになるなど人格形成に影響を及ぼすことがあり、昨今よく聞くすぐにキレる老人は前頭葉の衰えによるとの研究結果もあるとの記事を読み、なるほどと思う、そうならないために冒頭のオープンカレッジに通い始めたわけである。これまで、古寺・仏像の見方、西洋美術の観賞法、寄席の楽しみ方等々興味を引く講義を選んで受講したが、これがなかなか面白く、講義もそうだが、東京自体が田舎の年寄りには相当に刺激があり、加えて結構歩くので運動にもなるなど、前頭葉だけでなく心身への様々な刺激で一日が楽しく、また話題も増えて奥さんとの会話も弾み、毎夜の晩酌も旨いなど、古希を過ぎてなお、楽しい生活を送っている。

新しい年を迎えて

①平成二十年 ②企画部

水戸支部
替地 享二

沢山の年を重ねて、七十二回目の新年を迎えることとなりました。県職員退職後の十二年間いろいろな事がありました。リーマン大恐慌かなとか、予想もしていなかった大津波、東日本大震災と原発事故など世界的な事件に遭遇しました。茨城の平穏な日々ということが一瞬にして否定されたような気がします。

一方、我が家でも三人の子供達が社会に出て、それぞれが一人前に、またそれなりに活躍はしました。このことは、何事にも代え難いものと思っています。また、この時代に父を九十九才で妻の母親を九十六才で送ることとなりました。戦前からの厳しい時代を生き抜いてきた、それぞれの大きな大黒柱でありました。それがまた長命につながったことかと感謝の念を禁じ得ません。

この年令になると血圧、血糖値、などの管理が重要ですので近くの大家の先生に通っています。三の丸庁舎の階段はかけ上ったりしていましたが、近年は膝を大事にしています。

六回目の子年に思う

①平成二十年 ②農政企画課

水戸支部
川井 孝臣

私は一月生まれ、年が明けて七十二才。うち半分以上が県職員として異なる十五の課所で勤務した。私は山歩きが好きだ。初めて県外の山に登ったのは、高一の時に四人でテント泊をした磐梯山。学生時代には、地元で少人数のHCを結成して山やスキー等を楽しんだ。

県職の出だしは神栖での寮生活、仕事はまあまあであったが、山へ出掛けるのは交通不便地であり大変だった（免許も車もなく渡船で小川に出ることも）。だから、早池峰、八ツ、富士、奥穂、伯耆大山等への思い出が心に深く残っている。

その後は、年とともに生活も変化し、仕事も忙しくなり（学園祭例、産廃不法投棄対策、組織改変等）、山へ出掛ける回数は少なくなった。

現在は、脳梗塞での入院等もあり体力・気力も低下しているが、山は妻と二人で温泉とセットで手頃な山々を巡りつつ、最近では山城歩きも加えながら次の七回目の子年に向けて頑張ってまいりたいと思っている。

スマホと共に

①平成二十一年 ②生活環境部

水戸支部
齋藤 幸一

定年退職から十年余り。現在も非常勤で県の仕事をしている。運動は月一程度のゴルフと週二回程の練習場での打ちっ放し。晩酌は毎日欠かさないし、医者からは「年を考えて食べなさい」と言われるほど食欲もある。寂しくなった頭部は別として、まだ若いつもりでいた私が、ある時バスで女子高生に席を譲られはっとした。また、散歩の途中、公園の鉄棒に手を架け、懸垂が一度も出来ないのには驚いた。多くの音楽や動画を入れたスマホを常に持ち歩いている私が歳を感じた時だ。

スマホは、最近ではキャッシュレス決済ツールとしても注目されているが、古稀を過ぎ、固有名詞がすぐに出てこなくなった私には必須のアイテムである。手帳やメモアプリは基より、ネット検索、画面録画、紙情報のスキャン、LINE等での情報交流、外出先での地図ナビ等はよく使うし、音声入力も便利だ。

様々な場面で活躍するスマホと共にまた新たな年を迎える。

私の断捨離

①平成二十一年 ②土木部

水戸支部
鈴木 敏博

退職して12年、今も現役で工作中。土日の行事は、30代に出来た町内有志の青年会の生き残りの方々のお付き合ひ。中味はゴルフや蕎麦打ちとは名ばかりの酒飲みと日帰り温泉、昼食代をかけた麻雀、妻に言わせると道楽三昧に大忙し。加えて夏は子供会とコラボした祭り太鼓の練習とソーメン流しの準備など。合間を縫って80坪の菜園で野菜づくり。食べ切れない分は職場や近所に配り喜ばれている。一年を通して庭木の剪定草むしり、これに東京の孫達との交流や家庭サービス、退屈している暇は無い。しかし齢とともに早晩生活環境は大きく変わる事は言を俟たない。男の平均寿命は81才、健康寿命は72才とか、残された時間は少ない。今から30年も前に、ある先輩から戴いた「麻雀カラオケ、ゴルフはお止めなさい」というタイトル本、ゴルフを残し断捨離し、ボケもせず元気である内に終活を始め、これ迄苦勞をかけた妻にも何らかの形で恩返しをと思う、この頃である。

日々是好日

①平成二十一年 ②土木部検査指導課

水戸支部
園部 武正

六回目の干支が巡る年となり月日の経つのが何と早いことか！退職後は、現役の頃から携わっていた土木学会茨城支部の事務局を平成十一年から十五年間続けやつと茨城大学に譲り手を離れましたが、地元三町自治会連合会の事務局は平成二十年から現在までなかなか抜けられません。また、遺伝性疾患による透析生活も開始以来二十年になりゆっくりできるといまは全くありません。現役の頃から体を動かすことが好きでテニスや登山、普段はランニングと続いています。五年の継続雇用が終わると同時に和太鼓のグループに入り覚えの悪さにもつと若いうちに始めればと思っている次第です。さて令和元年の台風十九号による水害は幸い我が家は被害を免れたものの、昭和六十一年の台風十号の那珂川水害が河川課在職中の出来事で、その時の災害復旧の忙しさにはよく対応したものと感慨深いものがあります。今後も体の続く限り地域貢献に当たればと思うこの頃です。

次代をになう孫娘に伝えたい

①平成二十一年 ②鹿行地方総合事務所

水戸支部
高安 明美

光陰矢の如し、六度目の干支を迎えることになりました。古希を迎えた年に「自分史」を書き始めました。パソコンに向かい、思いつくまま生誕のことから、両親や兄弟のこと、走馬灯のように数々の想い出が浮かんできました。これを誰に読んでもらうのか、夫と二人の息子家族、当時まだ元気だった弟、亡くなった妹の息子たちに、母の十三回忌の法事で渡すことが目標でした。

おおよそ、二ヶ月で約二万字の作品は、人生の二十年分、丁度県職員に採用されたところで書き終わり目標を達成しました。この時期から、白内障により視力が衰えて、書くことが困難になり、一年後に高度先進医療の多機能レンズ手術を行い、見事に視力が回復しました。今後の五十数年については、残された時間を有効に三人の孫娘に、昭和・平成・令和を生きている、私の生きてきた道を書くことで、思いを伝えていきたいと考えております。

六度目の年女

①平成十九年 ②県北地方総合事務所

水戸支部
田山のぶ子

五年程前に病を得て今まで何度か入院治療や通院治療を受けているのですが、いつの間にか六度目の干支が巡ってきました。医師から病名を告げられ自分なりに覚悟を決めた事など思うと感慨深いものがあり、年女を迎えられることに素直に感謝したいです。

一昨年には次男夫婦に男の子が誕生しました。結婚十年目に初めて授かった赤ちゃんであり、私にとって初孫です。次男夫婦は遠方に住んでいるため簡単には会うことはできませんが、LINEで孫の写真を怒涛のように送ってきます。成長の様子がよく伝わってくるし何度見ても飽きません。動画から喃語や笑い声が聴こえてくると思わず画面に話しかけてしまいます。

私の治療はこれからも続きますが生まれてきてくれた孫の存在が何よりの特効薬のようで元気が出るし、治療にも前向きに臨めそうです。

趣味を楽しむ

①平成二十一年 ②鉾田保健所

水戸支部
富塚 一男

気が付けば、いつの間にか6回目の年男を迎えることになりました。退職後にお世話になっている現在の職場では最高齢者に至っており老人の域に達したわけですが、これからも成長と人生の楽しみを追求していきたいものだと思います。身体の高齢化は隠せず、4年前に深刻な病気が発覚した際には驚きましたが、とある山梨の療養温泉の存在を知ることができました。現地で交わした文字通りの裸の会話には癒され、以来、定期的な訪問が大きな楽しみとなりました。

現在、友の会のフォトクラブ、その他の写真同好グループに入会しておりますが、写真といえば、小学生時代に連れていかれた山で、今は亡き叔父に撮影してもらった写真がどういうわけか町の写真館店頭飾られていたことが興味の原点となりました。同好の方々との交流には大いに元気を頂いており、今後とも楽しく健康維持の源泉ともなっている趣味の活動を末永く継続したいと思っています。

今日までそして明日から

①平成二十年 ②広報広聴課

水戸支部
本多 敏士

退職時、周囲の方々に種々ご配慮を頂いて「退職後にやってみよう」と思っていた仕事に就くことができ、十年余職務に取り組んできました。

ささやかな趣味として、子供の頃親しんだ祭囃子演奏に取り憑かれています。幾つかの団体に所属し、篠笛の師匠（土木部卒）に叱咤激励されながら黄門祭りの山車上で息を切らしたり、鶯子囃子の若手に面倒を見られながら県内外各地の山車祭りに参加してきました。が、近年、炎

天下終日の山車巡行に耐えられなくなり、ここ数年は、地元で同好の志を募り、最寄り神社の祭礼や福祉施設、地域の催事などで、頭と身体に優しい曲目の演奏を楽しんでいます。

他方、体内エネルギーの蓄積がある内に取り組むべき細事も数多く、今年あたりをライフスタイルの転換点にしようかとも考えています。

年々、健診での黄信号も増え、決して元気澁刺とはいきませんが、明日からも、自然流で、自分に正直に生きていきたい。そう思っています。

健康管理

①平成九年 ②水戸土地改良事務所

那珂支部
片岡 忠男

光陰矢の如しと申しますが退職して七回目の干支である子年を迎えて二十三年目になります。

退職後は公民館、地区内等の役員神社の総代を引き受け在職中世話になった地域に対し貢献してまいりました。

その後自身の健康管理を考えて、先ず市内の山岳クラブに入りました。今までは家族及び友人等で県内の山に登る程度でしたがクラブに入り、東北方面から中部方面に月に三回程登山を続け会員達と苦楽を共にしてまいりましたが寄る年波に勝てず会を退会しました。現在は笠松競技場や近隣を散歩して足腰の強化に努めております。

又現職の頃より続けてきた家庭菜園にて根菜類を作り子供達や親戚等に配って喜ばれております。

これからも家庭菜園を続けながら地域のため自身のため残り少ない人生を健康に気をつけながら夫婦仲良く生きて行こうと思っています。

オリンピックを楽しむに

①平成二十年 ②常陸太田県税事務所



那珂支部
山崎 和夫

1964年10月10日、前日までの雨が嘘のような秋晴れの午後、国立競技場での東京オリンピックの開会式は、今でも鮮明に覚えています。と言ってもオリンピックに合わせて購入した自宅の白黒テレビでのことである。当時、高校2年生の私は、「日本国民は、最高のオリンピック国民である」とのブランドデージーOCC会長の言葉に、誇らしい気持ちになったことを思い出します。また、日本選手団の活躍に一喜一憂し、特に、「東洋の魔女」と云われた女子バレーボールチームの金メダルには大興奮でした。

誇れる文化財を次世代に

①平成二十年 ②農業総合センター



那珂支部
成井 重美

四月で七十二歳。今のところ眼科を除き医者のお世話にならないで、県内一の高齢社会である大子町で年相応に元気に過ごしています。

自己所有の土地の環境美化に努めながら、自給野菜・コメ等の食料栽培や地元神社氏子と檀家関係の役員を務めています。そして合間には国内外を旅したり健康のために月二回程度のゴルフ、それに五年ほど前から古文書の勉強会、生涯学習センターの講座を受講したりしています。各地域はそこに住んでいた人たちが営々として引き継いできたものであり、他に誇れる郷土であります。二年前には地元大字上岡の史跡や文化を調べて「大子町上岡の歴史散歩」として冊子を取りまとめました。登録文化財である「旧上岡小学校」や、明治十年代に鷺子彫り（現常陸大宮市）の名工等により作製された二台の屋台は、今後も次世代へ引き継ぐべき文化財として地元保存会活動に参加し維持活動を行っています。

夢ではない夢

①平成二十一年 ②総務部



那珂支部
自見 友一

かつては緩やかだった日々の時間が近年は誠に速い。子供の頃の運動会、遠足、夏休み、進級・進学―待ち遠しいものはなかなかこない。時間が遅く感じられたゆえんであろう。

今はどうか。毎日が日曜日、毎週ゴールデンウィーク、一年中夏休み、休みが休みなく続いていく。かつてのあの待ち遠しかった休日は何処へ行ったのか。古希を過ぎては進級の愉しみもない。あえて言えば、現在前期高齢者、まもなく後期高齢者に進級する。これが待ち遠しいわけではない。進級しなくてよい。落第・留年はないものか。かくして時間だけが加速していく。しかしである。最近とおきのおきの愉しみを見つけた。「全ての面の全国一の茨城」これである。待ち遠しいことこの上ない。現職のとき本県の底力をデータで論証したことがある。全国一の茨城の実現は決して夢ではない。詳細を記したいが字数が尽きた。その夢ではない夢の日を夢見て、ゆつくりとしつかりと歩んでいきたいと思う。

日々楽しく

①平成六年 ②高萩県税事務所



県北支部
酒出 茂子

健康には注意し、野菜中心の食生活にも心がけておりました。しかしある日ベットを動かそうと持ち上げると、腰に力が入り、ギクッと音がその時は痛くて動くことも出来ませんでした。レントゲンを撮ると、第一腰椎椎体骨折でした。胸にコルセットを着用し、入院生活の中で機能訓練や歩くりハビリをしました。また、退院支援を受け、介護保険申請をし、退院後は訪問介護を受け、掃除等を行なってもらいました。歩くことが少しずつ出来るようになり、今は週一回、デイサービスに行きリハビリや体力づくりをしています。運転免許取得から無事故が自慢でしたが現在は返納し、不便も感じてます。しかし、市の行事にはチギリ絵を出展するなど習い事をしており楽しい毎日です。他にも楽しみがあり、iPadで韓国ドラマを観ています。映像や音楽が美しく心とみます。また、娘や孫の運転で、大子温泉やりんご狩りへ行くなどし、明るく前向きに過ごしております。

年の初めに思うこと

①平成二十一年 ②検査指導課



県北支部
緑川 敬夫

年の初めに思うことは、自然災害などの災害のない一年であることです。特に昨年十月の台風十九号で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

次に思うことは、今年で七回目の干支を迎えましたが、次の干支が来るまでの十二年間をどのように過ごすかです。

そろそろ地域活動もほどほどにして、自分の人生を楽しみたいと思っています。

その一つは、日課となっているゴルフ練習と練習場で出会った同年代の仲間たちとお喋りや、プレー、飲み会です。色々な職業を経てきた人たちですが、不思議と会話が弾みます。この付き合いは長く続けたいと思っています。

もう一つは、年に一〜二回行くマレーシア旅行です。

四年ほど前から行っていますが、今では現地の友人も多くできて、ゴルフや食事を楽しんでいます。マレーシアの旅も体力のある間は続けて、刺激を受けたいと思っています。そのためには健康で人に頼らない生活ができるよう心掛け、無事次の干支を迎えられるよう願っています。

地域に生きる

①平成二十年 ②土木部用地課



鹿行支部
大久保 敏雄

戦後のベビーブームに生れ、あつという間に7回目の「子年」、改めて歩んできた道を振り返り、残りの人生を好きなことをし、健康で楽しく生きられればと思う今日この頃です。

退職後も、人に恵まれ、人に支えられ70歳まで4か所の職場を経験でき、特に若い人と一緒に仕事ができただのも、若さを保つことができた。

今は地域貢献として、市の選管委員などの市の公職を4つ、地元の区長、騒音対策協議会他、ボケる暇もなく過ごしています。趣味としては下手なゴルフと旅行、写真を愛し、合間には畑仕事と果物（桃、柿、栗、ブドウ）づくりを楽しんでいます。

いま、女子ゴルフは黄金世代（1998年生れ）、その50年前（1948年生れ）生まれは、シルバード（1948年）生まれは、シルバー世代、高齢社会に生きる私も、そろそろ子ども達に迷惑をかけないよう終活の準備に入ろうかと思うこの頃です。

趣味とともに

①平成二十一年 ②医療整備課



鹿行支部
海老原 衛

茨城県を退職してあつという間に十二年の歳月が過ぎ、六回目の年男を迎えます。

退職後の趣味として、特にゴルフとパチンコに力を入れている。支部友の会コンペを始め、元職場有志のコンペ、そしてプライベートのゴルフとコースに出る回数はかなり多くなっています。天気が良くなれば芝の上に立つと日頃たまったストレスを忘れ、爽快な気分がたまらない。時には大たたきをすることもあるが、そんな時は昼食でビールを追加して気分転換すれば良い。

そしてパチンコである。これは現職から続けているから、相当のペテランの域にあると自負している。が、勝った負けたは時の運であり、自分の思い通りにはならないのが常である。

人生一〇〇年時代と言われているが、残りの人生、健康でいられ、且つ、楽しい日々を送るため、この趣味を生かし生活していきたいと思っています。

年の初めに思うこと―八十過ぎの迷い

①平成元年 ②茨城県立コロニーあすなろ



県南支部
川田 敏子

五十代半ばで思いもかけない大病をした私は、五年先、十年先の話になると、いつも、そんな頃まで生きているかしらと思ったものです。幸い順調に健康回復して、ボランティア活動など自分のやりたいことが出来る幸せを感じしながら、いつの間にか八十歳過ぎまで生かされました。

子どもの頃から好き嫌いや人見知り、新しいことに手を出さず、従って、出来ないことが多々あります。そんな私が自動車の運転免許をとったのは割と早く、一九六〇年でしたが、運転開始はその十一年後です。子どもが三人になって、勤めと家事育児をこなすために、清水の舞台から飛び降りるような思いでマイカーに乗るようになったのです。以来、自動車なしには成り立たないような日常生活です。

いつまでこの生活が続けられるか自称「家付運転手」は、便利さ、自由さに馴れ切った現在の生活を卒業し、新しい生活へと転換するタイミングをやっと模索し初めた所です。

今年も観に行こう

①平成二十一年 ②県南地方総合事務所



県南支部
鈴木 博

今年は二度目の東京五輪の開催年である。前回は、日本中が熱く燃えていた記憶がある。今回は、マラソン・競歩が急遽、札幌開催となったが是非とも成功をと願っている。

昨年は、ラグビーW杯が日本で初開催され、予想を遥かに上回り、日本中で大いに盛り上がった。思えば、半世紀もの間、観戦し続けてきた身には感慨深いものがある。しかも、ベスト8とはまさに快挙であった。

ラグビー観戦は、テレビ放映以外の好試合中心に観戦してきた。しかし、最近はネットでのオンデマンド放映があり、高校、大学、T.L（トップリーグ）等の主要試合は殆ど見放題であり、とても重宝している。

とはいえ、全く現地観戦をしなくなると、何か心身の若さが失われてしまうような錯覚にも陥る。たまの観戦前には美術館等に寄ったり、帰りにはお目当ての食事をしたりと実に楽しみである。私にとつてラグビーは、勇気を貰えるスポーツでもある。今年も何度かは、秩父宮等に足を運ぼうと思っている。

六十歳すぎてから実行していること

①平成二十一年 ②土浦保健所



県南支部
神野 敏明

ヒトは年齢を重ねるほど健康や行動に不安を覚えるということが退職をして如実にわかってきた。

特に次の二つの面が心配になる。一つは脳の認知機能が衰えること。そして二つ目は筋肉の弱体化による寝たきりになることである。どちらの場合でも家族や周りの人たちにとつて大きな負担となることが心配の種となる。

そこで私なりに予防のために行っていることを書いておきます。

まず、二つとも食事と運動が重要な要素である。歳をとると脳神経に様々なゴミ（アミロイドβなど）が沈着するため認知症などを発症することが知られている。そこでごみを除去して脳を活性化するためにバランスの良い栄養素の吸収が必要で、私はミネラルとビタミン、オメガ3脂肪酸の摂取を心掛けています。具体的には、ナッツ類、亜麻仁油のほかビタミンの豊富な野菜や果物、玄米食それに卵や魚、肉など動物性食品を少量多種類とるのである。

もう一つは運動による筋肉の強化と脳機能の活性化で六十歳になってから十年間毎日雨の日と台風以外、1日1万歩を目標に歩いている。また、川島教授の脳トレパズルを購入し毎日実行している。おかげで趣味の将棋の大会では好成績で賞品ももらって帰ることも多い。

これからも短くて永い人生を楽しみ生活したいと思っています。

年の初めに思うこと

①平成二十一年 ②土浦県税事務所



県南支部
坂本 進

『自分は八十三まで生きる！』など酒の席で宣言したことがあるけど、その年がだんだん近づいてきた。あと一廻りしか無い。

糖尿病、高血圧、痛風、腎機能低下などを伴いにして、どれだけ永えられるだろうか？

やりたいことは、まだまだあります！

『何でも引き受けて、バカみたい！自分の暮らしをもっと大事にしたら！』と強力な家人に言われるけど、職業病みたいなものか？

チンドン屋、尺八、ハワイアンバンドなど、どちらかと言うと「絶滅危惧種に近い」と思われる。いろんなことに手を出して東奔西走。

この慌ただしさは、生きている限り続くんだろうなあ！

そして、寝たきりになっても、ベッドの上でチンドンの口上を叫んだり、口尺八や口ギターを鳴らしたり、みんなに呆れられながら、旅立って行くことでしょ！

集落の将来を楽しみに

①平成二十一年 ②鉾田地域農業改良普及センター



県南支部
高城 誠志

勤めを辞して、自由の身となり早六年が経過しました。

現職の時は、農村地帯であり兼業農家であることから家屋敷などの維持管理が仕事であり休日には植木の剪定や除草、家庭菜園などに携わっておりました。退職後は、生来から好きであったそれらの仕事は平日の仕事となりました。また、本を読む余裕を持てなかったのが、現在は月2冊のペースで単行本を読むことができボケ防止と共に珠玉のひと時となっています。

私は長らく農業関係の仕事に携わってきました。また、私の住む地域には耕作放棄地もなく時代の変遷による農業技術や担い手の精鋭化など農業の変化には目を見張るものがあります。その反面過疎化や担い手の高齢化そして住民の生活基盤の多様性があります。我が家には二十二歳（人間に換算すると百十歳）の長寿犬（人間に愛犬に元気を貰いながら集落の持続的発展と農業の将来を楽しみに見守って生きたいと考えています）

感謝

①平成二十一年 ②つくばまちづくりセンター

県西支部
稲葉 道夫

昨年3か月間程、脊柱管狭窄症で痛みとの闘いを経験しました。

症状は、3件目の病院でのブロック注射で治まりましたが、その間、体は殆ど海老のような状態で、直立歩行は困難となり、人生の終わりを感じたような思いでした。

このような状況で一つの良き体験をしました。

病状から、ためらいはあったのですが、私の出身地である宮崎県小林市に姉の一年忌で妻と出席することにしたのです。

杖を頼りの旅行となりましたが、航空会社の対応に感激しました。

搭乗口までの距離を考え、車椅子の借用をお願いしたところ、運転手付きのカートを提供してくれたのです。妻も同乗させてもらい私よりも感激しているようでした。

座席についても機内出入口に近い席を用意してくれました。

帰りの便も同様なサービスを受け、ノーマライゼーションの一端を享受できた良き旅行でした。

健康に感謝して

①平成二十一年 ②保健福祉部福祉指導課

県西支部
渡邊 洋子

令和初の新春に、六回目の干支を元気に迎えることができました。52歳の若さで外界した母を思うと感慨深いものがあり、健康で暮らせる日々に感謝しております。

昨年「いきいき茨城ゆめ国体」が開催されましたが、昭和49年の国体は、夏季、秋季、身障者と実施期間が分かれ、庁内が年中国体一色だったのを思い出されます。報道班として運営に係わったなかで、身障者国体のフィナーレは、選手を讃える拍手で会場が一体となり、私は言い知れぬ感動に涙したものでした。またこの年の春に長女が誕生したこともあり、特に思い出に残る一年でした。現在は近くの老人ホームに勤務して三年になります。現職時、福祉に携わったことから、その恩返しのもりで引き受けた仕事ですが、入居者の平均年齢は86歳、50人の人生の先輩から教えられることの多い毎日です。これからも心身共にゆとりある生活を心がけて、健康で楽しい日々を過ごせたら幸いです。

地域の仲間との交流を

①平成二十一年 ②商工労働部

県西支部
上野 善孝

遠距離通勤から解放されて早二年半。朝一時間余の散歩、小さな畑での野菜作り、家事・雑用、たまに友人との飲み会など結構忙しい毎日を過しています。時には爽快さを求めて、また、ストレス解消を図るために大型バイクで近隣の峠道を遠くは新潟・長野などへ、のんびりとツーリングを楽しんでいます。

三年程前、地元先輩から近隣の荒れた狭い市道や史跡、耕作放棄地等を綺麗にしないかとの話があり、環境浄化のボランティア団体が結成され活動に参加しました。メンバーは地元の仲間十数人で大半が六十歳以上、月に一度の草刈り中心の作業を皆若々しく生き生きと行っています。普段殆ど顔を会わせる機会の無い会員同士、会員も少しずつ増え、毎回休憩時には楽しく談笑しながら、交流の輪を大きく広げています。

この活動を通して地域の仲間との交流を更に深めながら、また、健康に留意しつつ、毎日を忙しく元気に、楽しく過ごしたいと思っています。

学ぶ毎日に満足

①平成二十一年 ②農業総合センター

県西支部
谷嶋 輝子

退職して十二年目を迎えます。当初大きな夢などさほど無く、毎日が日曜日というのが喜びでした。まずは友の会女性部に参加。年に数点の手芸品作りは時間に集中でき、好きな時間です。指導役の先輩に感謝です。地域にコハクチョウが飛来する菅生沼があり、月一回野鳥、植物、蝶等の観察会をして十八年になります。双眼鏡とカメラ片手に沼を一周すると3時間の運動です。また山好きの仲間と筑波山の自然も観察しています。我家の庭も山野草の苗を育てていますが、庭の片隅でそっと咲いている花を発見すると心がときめきます。（ときめきは心や脳に良いそうです）水泳は十年通い、継続は力なりというけれど、やっとその意味を理解。生け花・着付けは講師から学ぶばかりで修業の身です。今は学ぶことが多い生活ですが、整体の本を片手に筋力作りと、感動を分かち合える友を大切に益々豊かな生活を目指したいと思っています。

支部の動き



水戸支部

水戸支部施設視察研修会を開催

令和元年度の施設視察研修は「ガス科学館と東京2020・マラソンコースで迎える名所めぐり」でいうことで計画したが、ご存知のとおり、マラソンはサッポロ開催となり、「幻のマラソンコースで迎える」ということになりました。

11月19日、未明からの雨もやみ、58名の参加を得て、午前8時に最初の視察地である豊洲のガス科学館に向けて、水戸合庁を出発した。10時に到着する予定だったが、40分ほど遅刻してしまい、約1時間と短めの視察になってしまった。それでも東京ガスでは3名の担当者がそれぞれの班に付き、LNGの特徴や採掘から家庭に届くプロセス、環境との関わり、地震防災対策などを効率よく説明、案内していただいた。参加者も日立港のLNG基地などを通し、LNGについての興味があったようで、熱心に視察していました。最後に屋上からオリピック選手村や豊洲周辺の競技会場を



見学した後、集合写真をとり、職員の方々に送られ、最初の視察を終えました。

次に浅草。ここでは浅草らしい深川炊き込みご飯を含む昼食を食べ、その後は自由に買い物や付近の散策を行う時間としました。参加者は浅草寺やその付近を散策したり、仲見世通りでお土産を買ったりするなど、思い思いの時間を過ごしていました。

次が皇居。桜田門、大手門などを見ながら二重橋付近の駐車場にバスを留め、約40分の自由時間を設け、散策や写真撮影などで過ごしました。茨城国体に両陛下が来県されたこともあり、より身近な存在に感じられました。

そして2台のバスは完成間近の新国立競技場へ向かう。決定までに紆余曲

折があった競技場だが、競技場の側面に植栽なども設置され、もう少しで完成というところまで来ているようだ。バスで回つてみるとずいぶん大きいと感じた。ここでの熱戦を期待して、一路水戸へと向かいました。(横山 仁二)

県庁友の会フोटoclub

○ 第7回クラブ写真展を9月10日(火)から15日(日)まで、偕楽園公園センター展示室で開催しました。台風15号の影響で、会場準備日と初日の2日間、停電に見舞われましたが、多数の方々に鑑賞いただきました。ありがとうございました。

会員の力作36点を展示しました。今回のテーマは「秋の彩」で、色彩豊かな自然を鮮やかに切り取った作品が好評でした。自由作品は、全紙サイズ8点を含めて18点の展覧がありました。

次回(8回展)のテーマは、元号にちなんで「令和の梅」です。ご期待ください。



○ 撮影会を実施しました。

5月13日(土) ユネスコ無形文化遺産「佐原の大祭」の撮影に挑みました。バスを利用して、会員15人が参加し、古い街並みのなかで繰り広げられる伝統と格式のある祭りを堪能しました。秋季に計画した福島県の「江竜田の滝」は、台風19号のため中止とした。

○ 会員を募集しています。

全県1区です。どこの支部からも入会できます。

初心者大歓迎です。女性大歓迎です。連絡先

会長 更科 三男

090-2318-0092

幹事 成島 幸吉

090-4171-5273

陶芸倶楽部

十月から始まった、NHKの「スカレット」は、女性陶芸家のドラマで、陶芸の楽しさや、奥行きの深さを見せてくれています。

私たち陶芸クラブも、五月には日本陶芸展の鑑賞会を行いました。

この陶芸展は、2年毎に開催される、陶芸界最高峰の展覧会です。

毎回迫力ある作品、そして優雅な作品の数々は、目をみはるばかりです。

その後、笠間周辺のギャラリーを楽しみながら散策しました。

さらに毎年の恒例事業として定着した作陶会を、十月に開催しました。九回目となるため慣れたもので、手びねりで、花瓶や大根おろし皿、さらに火炎土器まがいの花瓶に挑戦したりし



て、一日を楽しみました。

一二月には、焼成した作品を会員皆で、品評しながら反省会を行いました。陶芸の創作活動は、脳の活性化にも効果絶大とか。ぜひ陶芸クラブへの入会を期待しております。(柴田 弘道)

園芸クラブ秋旅行状記

10月21日午前7時30分貸し切りバスは、水戸ICを南に向かう車内では、会員丹精の山野草(クンシラン・ガクアジサイ・カシワバアジサイ・セロジネ)、穀物(青御前)、果樹(ブルーベリー・カボス)が希望者に配られ、又飲み物・つまみが座席に届き、懇親の場となる。首都高・台風の爪痕残す多摩川を眼下に東名を経て、三島大社に到着・記念写真を収録・参拝後、白糸の滝を眺めて、下部温泉「下部ホテル」

午後5時20分到着。五つ星に輝く、信玄隠し湯で旅の疲れを癒した後、宴会場では、前会長(影山捷一氏)の乾杯の音頭で幕が開かれ、陶芸家(中澤勝利氏・利山氏)が丹精込めた備前・萩焼きのコーヒーマップ及湯呑が参加者全員に配られた。料理に舌鼓を打ち懇親後のカラオケでの宴は大いに盛り上がり、二次会まで行われた。翌日、ホテル旦那衆の見送りを受け、本県に所縁の武田神社に向かう。参拝・信玄ミュージアムで戦国時代の武将の威光に思いを馳せ、マンズ山梨ワイナリーでは、製造工程を見学・八種類のワインを試飲できた。里の駅一宮で、宝刀鍋で空腹を満たし帰途に着く。車中で大場会長から、健康寿命を保つには、筋肉増強が大切との講話を受け、無事帰宅となる。なお、都合で参加できなかった



三島大社にて

梶譲治氏からは、武田信玄のルーツ資料及び鹿熊俊明(鹿熊登志)氏からは、令和元年多額の財を投じて編纂された「八百万の神」(山嶽山草俳句集)を頂戴しました。

追って、当会では、只今、会員募集中、入会ご希望の方は、幹事(藤咲弘)携帯・090-4619-4766(メールアドレス: fu-san@topaz.ocn.ne.jp)まで！
：あなたからのお知らせをお待ちしております！

将棋クラブ

今、将棋界は天才藤井少年(現在七段)ら、若手棋士の活躍でブームが衰えず話題が尽きない。会員二十五名の和気あいあいでの対局を楽しんでいます。水戸市老人福祉センター「あかね荘」を会場に、次の活動をしました。

◆定例会(第三月曜日)

(優勝者)

四月	柴山 栄
五月	北田 久雄 上川 康夫
六月	上川 康夫 青木 則朗
七月	出沼 宏恭
八月	綿引 建夫 柴山 栄
九月	上川 康夫
十月	上川 康夫

◆第七回県庁OB将棋大会
(十一月十八日 あかね荘)
成績は次の通りです。

優勝	石坂 彰敏 上川 康夫
準優勝	綿引 建夫 松浦 紘寿
敢闘賞	出沼 宏恭 北田 久雄

(一組) (二組)

◆入会希望者は次の方にご連絡下さい。
〒三一〇〇九一二
水戸市見川五丁目一二五一―四九
北田久雄(☎二五一―〇三〇二)

県庁OBゴルフ会

令和元年8月30日第211回例会が、37名の参加により、趣の異なる3コースを有する扶桑カントリー倶楽部で開催されました。スタート時の天候は雨でありにくの天候であったが、1時間後には雨が上がりとの天気予報を信じスタートし、途中予報どおりに雨も上がり全員無事にプレイを楽しむことができた。

また、今回は去る5月13日の総会において選出された新会長栗原宏之氏体制での初めての例会であったが会長自身エージシユートを達成し例会を大いに盛り上げました。

優勝	綿引 典之
準優勝	栗原 宏之
B G	栗原 宏之
エージシユート	栗原 宏之

令和元年10月15日第212回例会が、35名の参加により内原カントリー倶楽部において開催されました。当CCは高低差3mの県内屈指のフラットなコースであり、天候は曇り空でほぼ無風状態、気温は21度前後とコース・天候ともにベストコンディションでスコアを崩す外的要因はなく、皆大いに実力を発揮できた？例会となった。

優勝	小室 孝
準優勝	小林 正樹
B G	栗原 宏之

(横山 薫)

県庁OBテニスクラブ

当クラブの実施している本年度事業は、次の通りです。

●茨城国体テニス競技会（神栖市）への参加

大会運営を担う役員・補助員総員五百名が、本クラブの参加者も含め県内全域から集合した。大会は、テニス愛好家でもある高円宮妃久子さまのお成りで、一層盛り上がった。五泊六日の日程は、瞬く間に恙なく終了した。

●健康づくりには最適なテニスを毎週開催（友の会では最高の実施回数）



せ安く、少人数でも、全身を使った運動で心肺機能の向上・脳の活性化が図られなど多くのメリットがあります。

テニスを始めましょう！

○定例会

水戸市総合運動公園 毎週火曜

水戸市柵町・県合同庁舎 土曜

●お問い合わせ先

黒澤 弘忠

029 (243) 4100

Eメール kurosawahiro@cure.ocn.jp

●「街中ウォーキング」の参加者募集
来年から街中をウォーキングを兼ねブラ散歩します。応募待ってます。

囲碁クラブ

当囲碁クラブは毎月第四月曜日、水戸市石川「あかね荘」で開催、毎回二十名前後の参加を得て三組編成の五局対戦、令和元年度月例会前半戦の優勝者は次の通りです。

四月 A組仁上敬造 B組平倉孝裕

五月 C組岩間律雄

五月 A組石川和宏 B組仁上敬造

六月 C組岩間律雄

六月 A組松浦紘寿 B組北田久雄

七月 A組古川正雄 B組平間富雄

八月 A組穂山隆貞 B組北田久雄

九月 A組安島国雄 B組平倉孝裕

月例会では午前九時半集合、出前弁当で昼食、午後三時頃まで勝った負けたと、熱戦を繰り広げ楽しい一時を過ごしています。

今人生百年の時代、いかに健康で元気に、楽しく、長寿を保つかが課題、それには、常に適度な運動と脳トレを



欠かさないことだそうです。特にボケ防止には囲碁が一番だと思います。囲碁に興味のある方、これからやってみいたい方、気楽に参加してみませんか、大歓迎です。

なお、入会希望の方は左記にご連絡下さい。 穂山 隆貞

(090-4224-3659)

ばいこの会学習会

令和になって初めてのばらの会学習会は、大きな被害を残し台風十九号が去って間もない十月二十一日に実施されました。集まった皆さんは、お互いに「被害はなかったですか」などと声をかけあっていました。

私達の年齢になると、相続問題が身近なものと感じられるようになってきます。「贈与・相続税対策について」を

テーマに、「大関税務会計事務所」の大関馨氏を講師にお招きしました。税理士である大関先生は、具体的な事例をあげてとてもわかりやすく説明してくださいました。民法や相続税法が相次いで改正され、複雑で難しい内容なのですが、熱心にメモを取る一方で笑い声があがるなどやかな雰囲気の中で、あつという間に予定の時間が終了しました。どのように準備して、これからの人生を送っていったらよいかの参考になりました。

年に一回の集いですが、久しぶりに懐かしい人に会うことができます。さて、来年は何を学びましょうか。

(関 純子)



那珂支部

2020年の講演会

日帰り旅行や秋の一泊旅行などこれまで参加者が少なく困っていました。2年前の新年会で「那珂よし会（女性グループ）」から講演会の開催が提案され、昨年講演会のテーマとして人生100年時代を迎え、我々の一番の関心事は「健康」ではないかとなり、講演内容や講師、日程などで調整がつかず実現しませんでした。

今回、那珂よし会役員のお骨折により、ひたちなか保健所長 牛尾光宏様が講師を快諾していただき、令和元年9月13日（金）午後2時から那珂市中央公民館で講演会を開催しました。講師の牛尾様は、平成7年6月から12年3月まで本県に在職され、衛生部長や初代保健福祉部長を歴任し、本県の保健福祉行政にご尽力されました。その後、厚生労働省に復帰され、大臣官房審議官（がん対策、国際保健担当）を最後に平成27年10月退官。翌年6月から2年間、ベトナム保健省保健政策アドバイザー（JICA）としてベトナムの保健医療分野でご尽力され、昨年4月から現職としてご活躍中です。講演会では、前半は「ベトナムの保健事情」、後半は「がんの基礎知識と新しい治療方法」の演題についてお話

を拝聴しました。がんの基礎知識について、講師からのクイズ形式により話をされたので、参加者はその答えを考えながら楽しく学ぶことができました。最後に、まとめとして、2人に1人はがんになる。がんの種類によって異なるが、全体で6割は治る。早期発見で更に治る割合は高まるので、検診を受けることが大事であることを再認識しました。また、がんの治療方法は主に手術、放射線、薬物療法の3つがあり、単独ないしは、これらを組み合わせ、



より効果的かつ負担の少ない治療が日々検討されているなど興味深い話を聴くことができました。講演は当初1時間30分でしたが、参加者の関心も高いことから質問も多く2時間超の盛会な講演会でした。（鈴木 敏之）

令和元年度日帰り研修旅行

令和元年7月25日（木）に那珂支部日帰り研修旅行が開催された。参加者20名、シンフォニー東京湾クルーズと浜離宮恩賜庭園散策のバス旅行であった。高速道路も比較的スムーズに通り抜け、水上バス日の出橋へ到着。船名シンフォニーモデルナでのランチクルーズに乗り込んだ。かなり大きな船である。波静かで、快適な船内のレストランでの昼食は料理良し、ビール良しで参加者は大満足のようであった。船は、羽田空港の飛行機が次々と発着するのを間近に見ながら、大きく旋回して、日の出橋に戻る。約2時間の湾内見学であった。湾内の水は濁っていて、海底は見えない。帰りの船内では、ソプラノ歌手岩田悠の独唱を身近に見ながら聞いて楽しんだ。

次に、「浜離宮恩賜庭園」の散策であるが、徳川将軍家の庭園として整備され、その後に、皇室の浜離宮となり、現在は東京都の管理となっている。汐入の池で、海水の池である。時間の関係で

とても奥までは散策できなかったが、お手伝い橋を渡って汐入の池の一部を見学したり、樹齢300年の松などを眺めながら散策を楽しんだ。途中、3人でお茶屋に寄り氷の入った冷茶を飲んだ。暑い日だったので非常においしいと感じた。茶屋には外人が多く、高齢のご婦人にお国はと尋ねたら「カナダです」とのこと、それ以上はつたない英語では、通じず残念。このような庭園は外国人は非常に興味を持っており、人気があるようです。手入れの行き届いた松の前で、一同記念写真を取り、このような名園が今後も永く残ってほしいとの思いである。

名園の残照を目に残して、途中、有



明地区のオリンピック施設の建設状況を車窓に見ながら、バスは帰路についた。バスの中では、会員で歌手の会澤和男さんのCDを聞きながら、実りの多い日帰り研修旅行を終えた。

参加者20名（敬称略）

武藤賢治、柴田紀一、野上公雄、三次正文、寺門義一、小坪一恵、杉山義夫、武藤秀孝、片野寿洋、後藤忠則、後藤妙子、船橋和江、後藤雅子、川崎薫、会澤和男、菊池大三、鈴木敏之、照沼貞夫、井上勇、照沼美代子

（広報 川崎 薫）

令和元年度一泊研修旅行

令和元年11月5～6日（火・水）に那珂支部一泊研修旅行が開催された。参加者16名、伊香保温泉のホテルきむらに一泊研修旅行であった。参加者が少なく、小型バスでの催行となった。

バスに乗り込むと後部座席はテーブルを囲んでのサロン形式で11人が座り、バスの前部に5人が席を取ることとなった。サロン形式で向かい合わせの席での旅もなかなか雰囲気良くて皆楽しく雑談に興じながら出発した。

一路北関東道路から東北道路との高速道路を進み、本日の研修旅行の第一目的の渋沢栄一記念館に着く。深谷市教育委員会管理のこの記念館は、平成7年の開館で、栄一の業績を年表にして展示、多数の写真などで偉大な先人の一端を見ることが出来る。同館の菅原さんか



ら年表による説明を受け、幼少期から青年期へそして渡欧時での経験などが後々の業績の基礎となっていると感じた。

近くにある旧渋沢邸「中の家」（なかんち）を見学、二階に養蚕室を持つ典型的な養蚕農家屋敷で、いたるところに高価な部材が使われ、ケヤキづくりの豪華な邸宅である。埼玉県指定旧跡「渋沢栄一生地」に指定されている。

深谷市内の割烹「若菜」で深谷風ほうとうで昼食、レンガ造りの深谷駅を見て、高速道路で渋川市へ向かう。臨済宗日本佛光山法水寺を参拝、台湾高雄市の佛光山寺を総本山とし、日本の本山として2018年に落成。開山も大変な問題であったろうが、宗教界の事はわからない。寺院までの階段は220段、120haの広大な敷地であるそうだが、ここからの眺めは最高である。

今宵の宿は伊香保温泉、「ホテルきむら」、旅の疲れもおいしい料理と酒

と気持ち良い温泉で癒された。

翌日は、上州物産館、こんにくパークに寄り、そして富岡市の一之宮貫前神社への参拝であった。1400余年前の創建で、物部氏祖神の経津主神（ふつぬしのかみ）を祭つて。神社は珍しい下り宮で上り下りで200段弱の階段を行き参拝、極彩色の社殿と檜皮葺の屋根、樹齢千年以上の杉などを見学した。今回は、良い天気にも恵まれて、渋澤翁から神社仏閣そしてテーマパークまで、また階段の上り下りの身体の鍛錬と盛りだくさんのたいへん有意義な一泊研修旅行となった。参加者が少なかったことが悔やまれる。次回は、誘い合つて参加者が増えるよう期待したい。

参加者16名（敬称略）

野上公雄、成井重美、渡辺光一郎、寺門義一、小坪一恵、船橋和江、塙 友子、福田八重子、片野寿洋、川崎 薫、照沼美代子、青木京子、舛井文夫、菊池大三、井上 勇、鈴木敏之

（広報 川崎 薫）

グリーン会

那珂支部グリーン会は【会員相互の親睦・交流と健康維持】を目的として活動しています。令和元年十月現在の会員数は七十名で、年々会員数が減ってきています。

「人生百年時代」を生きる糧の一助として意義ある活動になっているかと思えます。

ゴルフ大会の開催は、年五回、三月から十一月の奇数月に県北、県央地域のゴルフ場で開催しています。

各大会の成績次のとおりです。

○第六六回大会

日時 平成三十一年三月二十九日
場所 ウィンザーパークゴルフ
参加人数 二九名

優勝 矢田部秀夫

準優勝 片野 壽洋

第三位 木城 晃三

○第六七回大会

日時 令和元年五月二一日
場所 水戸グリーン山方コース
降雨のため、中止

○第六八回大会

日時 令和元年七月一二日
場所 ロックヒルゴルフクラブ
参加人数 三九名

優勝 櫻村 弘明

準優勝 山崎 栄二



第三位 塙 安正

○第六九回大会

日時 令和元年九月二六日

場所 勝田ゴルフ倶楽部

参加人数 三四名

優勝 岡村 俊英

準優勝 菊池 明徳

第三位 安原 宏

○第七〇回大会

日時 令和元年十一月一四日

場所 水戸グリーン山方コース

参加人数 二八名

優勝 栗田 俊二

準優勝 後藤 将美

第三位 平山 武

(片野壽洋)

県北支部

宮城蔵王・遠刈田温泉の旅

恒例の県北支部の研修旅行を十月二八・二九日、二五名参加のもと実施しました。今年は毎週のように台風や大雨に見回れ、高齢化と相俟って、一時参加者不足が危惧されました。幸い当日は天候の恵まれ予定通り太田合庁を出発、六号国道を北上し、高萩駅東口にて全二五名が乗車完了。中型バスなので仲良く肩を寄せ合い、二日間、楽しく和やかなバスの旅となりました。上杉氏ゆかりの米沢市内で昼食を取り、日本三熊野の一つに数えられる熊野大社に参拝、続いて紅葉に迎えられて蔵王・御釜へと。山頂を吹く風は心地良く正に絶景でありました。



宿泊は慶長六年（一六〇一年）開湯以来、蔵王信仰の登山基地として知られる「遠刈田温泉」、効能あらたかな湯で疲れを取った後は、メーインイベントの大宴会へと。一通りの腹ごしらえの後、バス車中のビンゴゲームの入賞者一位・十位の面々がカラオケ優先権による指名を受けての大熱唱。歌声は途絶えず。翌朝、皆爽やかな顔にて集合写真に収まる。元気に宿を出発。

松島にて遊覧船に乗船。東日本大震災から八年余。一日も早い完全復興を祈願し、瑞巖寺を参拝。昼食は仙台市内のホテルにてバイキング。やはりドリンクを付ける。バスに乗り込む頃に雨となるも、一路常磐道を南下。疲れを知らない子供のように、又もカラオケ大会を開始。演技者には用意した茶菓

子等を在庫一掃処分を兼ねて景品とした。瞬く間に時が過ぎ、バスは茨城県内に。皆、来年の再会を願い、沢山のお土産を抱え、足取りも軽く下車。雨は小降になっていた。

(研修旅行担当 蛭田信行)

県北めいきゅう会定例会

第185回大会は、9月20日(金)

茨城ロイヤルCCCで開催されました。

参加者は14名。ペリア方式を採用。

入賞者は、次の方々です。

優勝 飯島 孝夫

準優勝 田山 克之

第三位 北村 重男

ベスグロ賞 高橋 金治

第186回大会は、10月24日(木)

グランドスラムCCCで開催されました。

参加者は9名。ペリア方式を採用。

入賞者は次の方々です。

優勝 諏訪 幸雄

準優勝 岩上 功

第三位 後藤 公男

ベスグロ賞 高橋 金治

第187回大会は、11月28日(木)

茨城ロイヤルCCCにおいて開催されました。

参加者は12名。ペリア方式を採用。

入賞者は次の方々です。

優勝 ベスグロ賞

準優勝 黒羽 真之

第三位 和田 文男

諏訪 幸雄

次回は4月16日(木)グランドスラムCCCで開催予定です。

(白石 勤)

第32回グラウンド・ゴルフ定例会

令和元年10月7日(月)、鉾田市箕輪の「いこいの村涸沼」で、第32回定例会が開催されました。グラウンド・

ゴルフは初めてという会員2名も参加し、爽やかな天気の下、計14名が涸沼湖畔の広々とした芝生の会場で、和や



かな雰囲気の中でプレーをしました。入賞者は次の方々です。

優勝 土田 惣一

準優勝 高橋 金治

第三位 樫村 賢

ホールインワンは、樫村賢、黒澤則良、土田惣一の各氏でした。

次回大会は、令和元年12月19日(木)20日(金)に忘年会を兼ねて一泊二日で開催します。場所は、今回と同じ「いこいの村涸沼」です。

鹿行支部

秋の日帰り旅行

十月三十日秋晴れの中、バスは鹿嶋、牛堀、銚田でそれぞれ参加者二十二名を乗せ、銚田インターから東関道、北関道を走り、途中、岩瀬の平安時代に創建されたと言う天台宗月山寺に立ち寄り、美しい庭園と樹齢七百年の五葉の松を鑑賞。再び北関道に乗り那須へと向かう。

那須インターから一般道を進み、那須温泉神社下にあるホテルフェリヴェール那須に到着。センサーに反応した数体の恐竜が迎えしてくれる。ちよつとびっくりするが、子供は喜びそつだ。

早速、宴会場で喉を潤し、おいしい



食事をいただく。会話が弾み、ステ

ジでは自慢の喉が披露される。そして森の声を聞きながら、極上の温泉に浸かり、自宅では味わえない空間の中で、日頃の疲れを癒した。

周辺の紅葉はこれからという感じだったが、このように楽しいひと時を共に過ごし、会員相互の親睦を深めて、那須高原を後にした。(高崎 真)

県退水郷会ゴルフ大会

○第97回大会

・梅雨入り前の温暖なコンディションの中、久しぶりに戦略性を重視したコース改修が行われた鹿嶋市の鹿島の杜CCにおいて参加者17名で開催されました。

・このゴルフ場は、平坦な鹿島台地に名物の階段で降りる深いバンカーやグリーンサイドまで続くフェアウェイバンカーなど、各ホールが戦略の試されるコース設定となっております。

・競技結果は、正確なシヨットとグリーン近くでの絶妙なアプローチが冴えた岡四郎氏が優勝いたしました。

優勝 岡 四郎

準優勝 栗原 久弥

第3位 人見 一教

・競技終了後は、県退水郷会保立会長の挨拶に続いて表彰、パーティー及び定期総会を行い、次回開催(9月

27日)を決定し散会しました。

○第98回大会

・台風15号の直撃により数多くの倒木等の被害があった行方市のノースシユアカントリークラブで、14名の参加者で開催されました。

・このゴルフ場は、行方台地の丘陵にあるため、北浦湖畔から吹き上げる風と影響と長く伸びたラフに対応したコース戦略が試されました。

・競技結果は、ラウンド通して安定したゴルフを展開した飯島耕志氏がハルデを活かして優勝するとともに、堅実なシヨットに努めた競技者が上



位を占める成績内容となりました。

優勝 飯島 耕志(併シニア優勝)

準優勝 草野 一夫

第3位 日向寺 貢

・競技終了後は、県退水郷会保立会長の挨拶に続いて表彰及びパーティーを行うとともに、次回開催(11月19日)を決定し散会しました。

(常任理事 日向寺 貢)

県南支部

研修視察旅行

県南支部の研修視察旅行を令和元年9月4日～5日の一泊二日で実施し、21名の会員が参加しました。

観光バスで土浦合同庁舎を8時30分に出発。出発時には小雨でしたが、福島県に入る頃には雨も上がりました。常磐道、磐越道を経由し、会津武家屋敷で昼食・見学。15時30分に芦ノ牧温泉「大川荘」に到着しました。早速、温泉に入り日頃の疲れを癒しました。

懇親会では、カラオケや昔話、お互いの近況などで盛り上がりました。

二日目は朝風呂に入り、冷えたビールを飲みながらのスタートです。

9時に「大川荘」を出発する時には、大勢の従業員が手を振って見送ってくれました。おもてなしの心に感動しました。

二日目の最初に大内宿を見学。その



後、塔のへつりを見学し、那須りんどう湖レイクビューで昼食・見学。お菓子が城那須ハートランドでショッピングを楽しみました。

東北道、常磐道を経由し、土浦合同庁舎に16時30分に無事到着。

ドライバーさんガイドさん安全運転に心がけていただき、ありがとうございました。

(湯原 昇)

南友会ゴルフコンペ

第166回

令和元年6月14日、カントリークラブザ・レイクスにて、梅雨の晴れ間の爽やかな天候の下、29名の会員の参加を得て開催することができました。

成績は次のとおりです。

優勝 大槻 敬一

準優勝 柴田 寿夫

第3位 馬場 清康

B・G 大槻 敬一

第167回

令和元年9月13日、石岡ゴルフ倶楽部ウエストコースにて27名の会員の参加を得て開催。9日に関東に上陸した台風15号で、コース外に倒木等の被害が見受けられる状況でのプレーとなりました。

成績は次のとおりです。

優勝 下田 久

準優勝 川村 誠

第3位 嶋田 一郎

B・G 木村 矩男

第168回

令和元年11月13日、玉造ゴルフ倶楽部若海コースにて会員25名の参加を得て開催。曇り空ながら風は殆どなかったため、この時期としてはあまり寒さを感じないコンディションにてプレーすることができました。

成績は次のとおりです。

優勝 塚本 和郎

準優勝 北郷 新平

第3位 高須 米司

B・G 塚本 和郎

本会では年6回のゴルフコンペを開催しております。参加をご希望される方は長谷川和夫幹事長(090-3133-18051)までご連絡下さい。

(幹事 橋本 邦夫)

園芸クラブ

「美しいバラと共に過ごす至福のご褒美時間」

こんなタイトルで茨城県フラワーパークが企画した「バラまつり」に参加した。

10日間あった今年のゴールデンウィークが終わり、ボタンからシヤクヤクへと引き継がれた花の王座はバラへと移っていく。「園芸クラブ」の総会を兼ねた研修会は快晴の6月1日、八郷(石岡市)の県フラワーパークを訪れた。

つくばEXPO85を記念して開設された12haはバラの花園である。職員の方の説明によるとバラは800品種30,000株がありこの時期が真っ盛りである。手入れ剪定には大勢の人手が必要で、臨時の雇用で賄っている。そのうちの1人に会員の長谷川泉さんがおり園内を誘導、説明して頂きかなり突っ込んだ技術指もあり有意義な時間を過ごすことができた。園内のレストランの一角を貸し切りにして頂いたおかげで昼食後には総会の会場となり、提案された議案は全て議決された。

施設は30年を過ぎて見劣りする物が

増え、県は今年度に大幅な予算を計上して何年かすると年40万人の入園者を見込む施設に改築が行われるとのこと。楽しみである。

(広報担当 飯島 卓)



県庁友の会県南支部 園芸クラブ総会
令和元年6月1日(土) 茨城県フラワーパークにて

県西支部 日帰り研修

県西支部では、6月中旬に34名が参加しての日帰り研修を実施しました。

開催時期が梅雨のさ中で、行き先が東京とて、雨に降られず交通渋滞に遭遇しなければ、半ば成功です。結果は、日頃の行いはともかく、当たりでした。まずは、駒込駅近くの旧古河庭園で

す。バラは盛りを過ぎていましたが、バラ園を従えての石造りの洋館は、大正期の名園と言えます。旧古河庭園を含む都立文化財9庭園は、入園料も安価です。

昼は、築地場外での自由昼食です。築地市場の豊洲への移転で、客離れが懸念されましたが、寿司店員から、「一時落ち込んだものの、今では客足も戻っている。」との話を聞き、市場移転に翻弄されない頑張り、少しは応



援になったかと思っています。

午後の研修先は、赤坂迎賓館(本館と庭園)です。平成28年からの通年公開で、初めての方が多かったようです。建物の用途から当然ながら、手荷物検査や金属探知など、飛行機搭乗並みのセキュリティチェックの中、なんとか全員入館でき、ひと時の賓客気分を味わいました。

(遠藤喜一郎)

宿泊研修旅行

地球温暖化を起因とする、過去に例を見ない規模の災害(台風、大量の雨を降らす線状降雨帯等)が次々と日本列島に上陸し、居座ること等により、多大の被害をもたらしました。被災された方々への支援活動を行うと共に、1日も早い復興を心から祈っております。

そんな状況の中での宿泊研修旅行、会員からの希望もあって、少し移動距離が遠い静岡県の館山寺温泉・大井川鉄道(寸又峡)方面に行ってきました。夏場の酷暑や生活習慣病を克服された勝者(?)会員30名の参加により、立冬も過ぎた11月20日~21日の2日間、好天にも恵まれて、バスの中では、久しぶりに会った会員同士が、昔話や趣味、近況等の会話が花が咲き、待ちきれなくなって定番のカラオケ大会も開催されるなどとても賑やかでした。

最初の見学場所は「龍潭寺」(千年

余り四十代の祖霊を祀る井伊家の菩提寺、NHK大河ドラマで放映された女城主井伊直虎でもお馴染み)で、特に江戸時代に造られた池泉鑑賞式庭園(国の名勝記念物に指定された東海の名園)がとても印象的でした。宿泊地の館山寺温泉は観月の名勝地でしたが「下弦の月」のタイミングでした。必ず満ちる下弦の月もまた格別でした。良質の温泉に浸かり、美味しい料理に舌鼓をうち、談笑とカラオケ大会に大満足。次の日は、徳川家康が天下盗りの夢をつかんだ場所と言われている「浜松城」を見学、そして今回の宿泊研修の主目的「大井川鉄道SL列車」の旅。機関車トーマスが勢揃いして出発する我々のSL列車を見送ってくれ



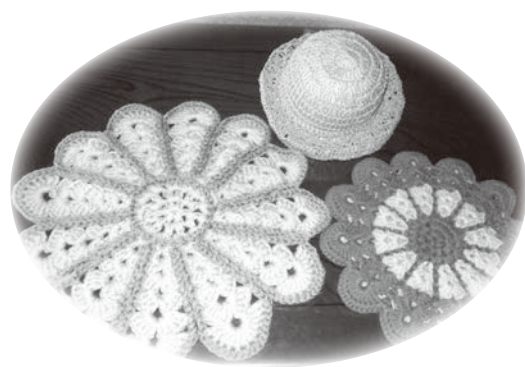


令和元年早々の六月八日手芸を実施、レース糸で買物用「レヂカード入れ」を編みました。財布が軽くなり便利に

「すみれ会」活動状況

(旅行幹事 菅家 正美)

ました。半世紀以上も前の機関車（C108）やその当時の急行列車に乗りし「セピア調」に満喫し、雄大な大井川の風景とのコラボに酔いしれての大変有意義な研修旅行ができました。今回の研修旅行での楽しい思い出、久しぶりの会話を通しての新たな発見・教訓を得ての充実感などを糧にして頂き、次回もまた元気にご参加いただくことを願っております。



利用しています。六月二十八日は夏用の「ダブルプリム帽子」を巾広の麻糸で編みましたが、糸の引き具合などで編面が変化しむずかしい帽子編でした。九月十二日は極太毛糸のクッション作りで、同模様を二枚編み合せて綴じる。毛糸の配色で華やかな、座りごこちの良い物が出来ました。手先を使いボケ防止の活動をしてきましたが十月三十一日は、昨年始めて体験した「パークゴルフ」の希望があり実施しました。昨年は初心者講習を受けましたが、今回は即コースへ、ゴルフを確認し打ったつもりが、方向違いの草群へ、次はコロナ数メートル先へ等々、結果は良くありませんが、大空の下で楽しく会員手作りのおにぎりで昼食を、健康に良い一日を過ごすことが出来ました。

また今年度は、十二月二日キルティング布のバック作りを予定、日程は未定ですが、「老人ホーム」見学研修等を計画しています。

(会長 落合 純子)

令和初の箱根湯本・鎌倉の旅

今回の旅先は谷貝先輩の一声で決定。令和元年七月三日、梅雨空の元（九州地方では大雨）、すみれ会々員五名を含めた県西支部史跡巡りの会のメンバー二十五名が、箱根湯本・鎌倉方面に向かって中型サロンのバスに乗り込み出陣（一泊二日の旅）しました。

まず、柳沼会長からご挨拶を頂き、バスは圏央道常総ICから乗り、厚木ICを経て小田原厚木道路に入り、箱根関所（昼食場所）へと向かい、車中では手づくりのオシッコ等を肴にビール、銘酒がすすむこと、併せてカラオケで大いに盛り上がりました。昼食後、箱根関所、箱根神社を見学し本日の宿「箱根湯本温泉ホテルおかだ」へ到着しました。

早速、弱アルカリ性単純温泉湯の里（多数の湯舟あり）にて、身も心も癒し、肌も頭もツルツル。夜の宴は昼の車中の事はすっかり忘れ、飲めや歌えや、病氣自慢、高い介護保険、年金からの税の天引き、ゴルフ談議等で懇親を深め、最後に生井先輩の指揮により「誰か故郷を想わざる」を全員合唱でメました。

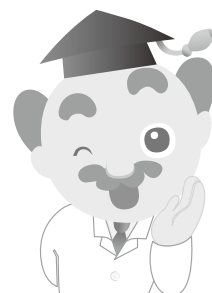
翌朝、予想通りの大雨。しかし、アジサイ寺とも言われる長谷寺、像高十一m弱の大仏様の高徳院、法堂に迫力ある天井画「雲龍図」がある建長寺、九年前に風雪により大銀杏倒木のあった鶴岡八幡宮の参拝時は、傘が不要な位の空模様となり、夫々〇〇祈願を真剣な顔で礼拝（合掌）されていました。雨も上がり、帰路の車中、飲み切れなかった大吟醸等をオマケとしたビンゴゲームで皆様に喜ばれました。美味しいご馳走腹いっぱい、楽しい思い出いっぱいにして、PM6時頃筑西合庁に無事到着し、来年の再会を約束して散会しました。

(稲葉 次夫)





Q シリーズ 知っていますか



遺言って何？



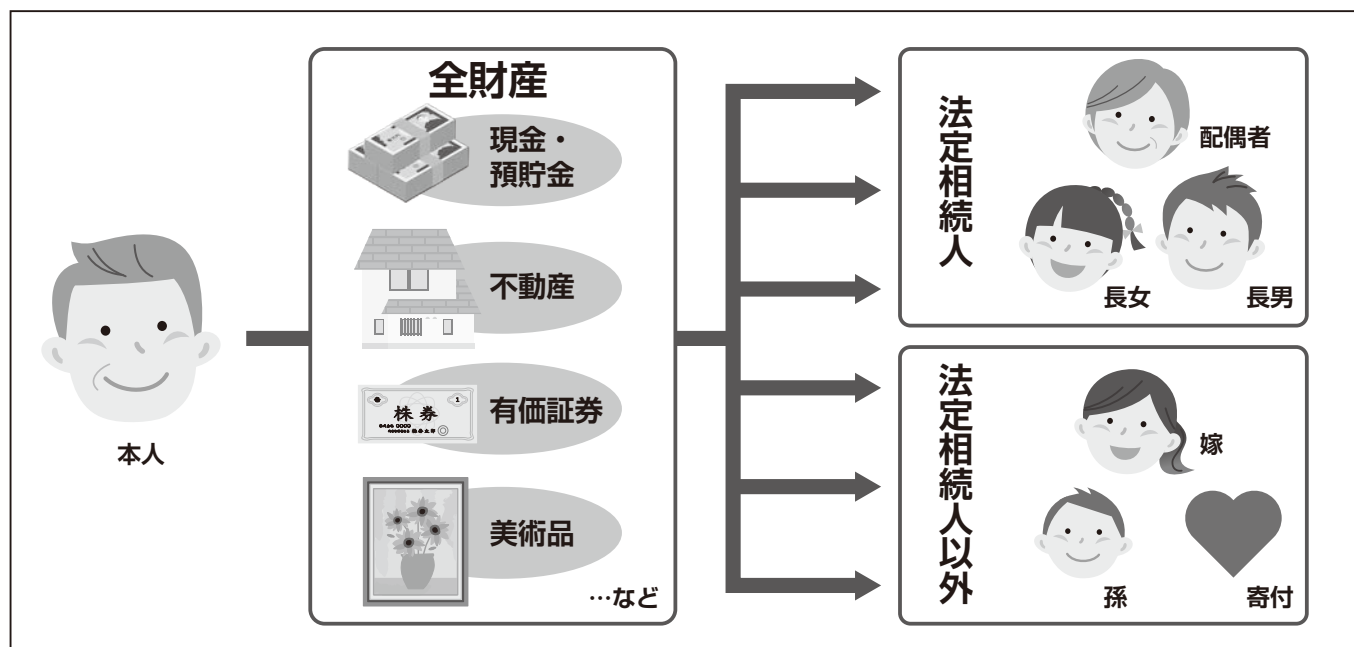
遺言は相続争いを避ける有効な方法だとよく耳にします。遺言って何、そして、なぜ、遺言を書きのこしておくことが大切なのか。今回は、この遺言をテーマにご説明します。

●遺言があれば家族は安心です。

ごく普通のご家族でも相続が起きるとさまざまな問題が発生します。たとえば財産が少なくても、家族仲が良くても、不動産や有価証券などすべての財産をのこされた家族で公平に分けることは難しいため、本人の想いを伝える遺言があると家族は安心です。

●自分の想いで、すべての財産の行先を決めることができる。

遺言は、自分の亡き後に、自分の財産をどのように分けて欲しいか、といった意思を書いてのこしておくことで、「誰に」「何を」「どれだけ」のこすかを決めることができます。遺言には、ここに挙げているように、いくつかの特徴があります。



【遺言の特徴】

- ◆法定相続分に優先します。
- ◆何度でも書き直すことができます。
- ◆すべての財産の具体的な分割方法が指定されていれば遺産分割協議は原則不要です。
- ◆付言事項で想いを伝えることができます。
- ◆法定相続人以外にも財産をのこすことができます。
- ◆相続手続きが簡便化されます。

●遺言の種類

一般的な遺言には、自筆証書遺言と公正証書遺言があります。自筆証書遺言は、原則として、遺言者自身が自筆で全文と日付を書き、署名・押印して作成する遺言で、費用はほとんどかかりません。遺言者の亡き後、家庭裁判所で検認手続きを受ける必要があります。平成30年7月に民法（相続法）が改正され、パソコン等で作成した自筆によらない財産目録を添付することも可能となりました。令和2年7月10日からは、自筆証書遺言を法務局で保管できるようになります。預けた場合は検認手続きが不要となります。次に公正証書遺言ですが、公正証書遺言は、公正役場に向き、二人以上の証人の立ち合いのもと、遺言者の口述した内容をもとに公証人に作成してもらう遺言のことをいいます。多少手間と費用がかかりますが、遺言者の亡き後の検認手続きも不要で、書式不備や保管時の心配がありません。それぞれの違いをよく理解し、大切なご家族のために、遺言をのこしておいてはいかがでしょう。

	自筆証書遺言	公正証書遺言
作 成	本人が全文を自書して作成する 自書でない財産目録（署名押印必須）の添付可	公証役場において、証人同席のもと、本人の口述内容をもとに公証人によって作成される
証 人	不要	2人以上必要
費 用	作成に費用はかからない	作成手数料が必要
保 管	自宅など、どこでも。 2020年7月10日以降、法務局での遺言保管も可能に	公証役場
検 認*	必要／法務局に預けた場合は不要	不要

●遺言のトラブル回避の3つのポイント

【ポイント1】状況が変わったら遺言を書き直す

遺言を書く時には、金融資産の残高などをもとに分け方を考えるのが一般的ですが、時間とともに残高が変わったり、別の商品を買ったり。「金融資産」とひとまとめにして書くと、定義があいまいでトラブルになりかねません。財産や相続人の状況が変わったら、遺言の書き直しをお勧めします。

【ポイント2】「遺留分」に配慮する

民法では、兄弟姉妹以外の法定相続人に最低保証された財産の取り分を規定しています。自ら主張することで、最低限相続できる権利を「遺留分」といいます。「遺留分」を侵害された相続人は遺留分侵害額に相当する金銭を請求することができます。「遺留分」を侵害してしまうほどの偏った遺言とならないよう、「遺留分」には十分配慮して遺言を作成する必要があります。

【ポイント3】「付言」に想いを託す

「お父さんの亡き後、太郎は家を継ぎ、同居してくれた。感謝の気持ちを込めて自宅をのこします。花子には幾分少ない財産分けとなりますが、預貯金をのこします。二人のおかげで、幸せに暮らすことができました。これからもずっと仲の良い兄妹でいてほしい。… 母 良子」

「付言事項」には法的な効力はありませんが、遺言の最後書き添えることで、財産分けの考え方や家族への想いを伝えることができます。特に、財産分けの理由やメッセージをのこすことは争いを避ける上で、一定の効果があります。「付言」はトラブル回避の「万能薬」とまでいえなくても、「緩衝剤」として期待できます。

●遺言は愛する家族へのラブレター、第二の婚姻届

以上、今回は遺言をテーマにご説明しました。遺言は相続でのトラブルを避ける有効な方法の一つですが、一方、内容がもとで争いを招くこともあります。円満で円滑に相続してもらいたいと思っても、逆効果になってしまうのはとても残念です。遺留分などに十分配慮し、愛する家族がいつまでも仲良く、安心して幸せに暮らせるように、遺言にあなたの想いを形にして、のこしておきましょう。 野村證券株式会社 信託銀行・保険事業部

事務局だより

文中のお名前は敬称略・順不同と
させて頂きます。ご了承ください。

叙勲の受章者

令和元年秋の叙勲で、次の方々が受章されました。栄えあるご受章、誠に
おめでとうございます。

○地方自治功労

瑞宝小綬章 武藤 賢治 常陸大宮市
瑞宝双光章 小澤 宏道 ひたちなか市
宮川 章 水戸市

○高齢者叙勲の受章者

春秋の叙勲とは別に、次の方々が受章
されました。栄えあるご受章、誠に
おめでとうございます。

瑞宝双光章 立原 昭

水戸市（8月1日付け）

瑞宝双光章 田原 寿夫

笠間市（8月1日付け）

瑞宝双光章 安川 徳三

水戸市（8月1日付け）

瑞宝双光章 富張 資知郎

水戸市（9月1日付け）

瑞宝双光章 木村 隆臣

那珂市（10月1日付け）

瑞宝双光章 平野 元吉

水戸市（12月1日付け）

歓迎！新会員

令和元年盛夏号掲載以降、入会され
た方々をご紹介します。

新会員の皆さん、よろしく願いま
す。

理事会を開催

令和1年7月24日に理事会を開催し、
「友の会の概要」、「運営の現状と課題」
等について説明がなされました。

「出席者」

川俣 勝慶 後藤 和正 野上 公雄
朝日 正 谷貝 一雄 堤 義雄
福田 敬士 関 純子 岡村 俊英
土田 明嗣 富塚 一男 鈴木 敏之
野川 康利 信田 和男 泉 多加夫
大森 一孝 須賀田恒彦

美術展運営委員会を開催

令和1年8月21日に第32回県庁友の
会美術展の第1回運営委員会を開催し、
開催要項等を決めました。

「出席者」

柴田 弘道 武田 正 安川 徳三
荒井 洋子 小室 孝 成島 幸吉
更科 三男 福田 敬士

会報編集委員会を開催

令和1年9月11日に会報165号
（2年新年号本誌）の編集委員会を開
催し、編集内容などを決めました。

「出席者」

関根 秀隆 磯崎 隆司 黒沢 孝子
川崎 薫 宮原 志朗 草野 一夫
晝田 照夫

理事会を開催

令和1年11月12日に理事会を開催し、
「上半期事業の進捗状況」、「会員の加入
状況」等について報告がなされました。

「出席者」

川俣 勝慶 後藤 和正 小牧 康彦
谷貝 一雄 堤 義雄 福田 敬士
岡村 俊英 富塚 一男 鈴木 敏之
生田目陽一 野川 康利 信田 和男
泉 多加夫 須賀田恒彦

友の会あり方検討会を開催

令和1年11月12日にあり方検討会を
開催し、友の会の安定的な運営等につ
いて検討しました。

「出席者」

福田 敬士 富塚 一男 鈴木 敏之
生田目陽一 野川 康利 信田 和男
泉 多加夫

50周年記念事業検討会を開催

令和1年11月13日に記念事業検討会
を開催し、記念事業内容等について検
討しました。

「出席者」

福田 敬士 関 純子 鈴木 照代
土田 明嗣 鈴木 敏之 生田目陽一
草野 一夫 信田 和男 中里 修三

美術展運営委員会を開催

令和1年12月18日に第32回県庁友の会
美術展の第2回運営委員会を開催し、作

品の出展状況、運営方法等を決めました。

「出席者」

柴田 弘道 武田 正 安川 徳三
荒井 洋子 小室 孝 諏訪 幸雄
成島 幸吉 更科 三男

シニアサロンをご利用ください

6月1日から11月30日までの間、趣
味の会打合せや保険手続き、その他で
延べ二六名の方々がお見えになりま
した。今後とも、お茶やコーヒーを用
意して皆様のお越しをお待ちしていま
す。お気軽にお立ち寄りください。

おくやみ

令和1年盛夏号掲載以降の次の方々
について、会長から弔電を差し上げ、
お悔やみを申し上げました。

また、各支部の役員が告別式等に参
列し、香料を供え、心からご冥福をお
祈り申し上げます。

〔平成30年6月〕1名

●酒井 弘子（79歳）水戸市

〔平成30年9月〕1名

●小林 一成（77歳）水戸市

〔令和元年5月〕1名

●関 昌紘（72歳）水戸市

〔令和元年6月〕6名

●秋山 龍雄（90歳）小美玉市

●石川 省吾（89歳）ひたちなか市

●山田 茂和（92歳）那珂市

●中川 三男（91歳）水戸市

●平 秀治（93歳）日立市

●坂本 理（72歳）日立市

〔令和元年7月〕7名

●戸谷 孝治（68歳）かすみがうら市

- 荒木 武平(77歳) 那珂市
- 田村 泰洋(81歳) 水戸市
- 小里 敬(91歳) 笠間市
- 川島 始(82歳) ひたちなか市
- 中郡 金三(92歳) 日立市
- 山口 進(88歳) 土浦市
- 〔令和元年8月〕6名
- 小宅 近昭(76歳) 那珂市
- 平塚 博(70歳) 土浦市
- 林 慶康(91歳) 美浦村
- 岩井 忠三(78歳) 水戸市
- 安藤 公雄(82歳) 静岡県
- 立原 昭(88歳) 水戸市
- 〔令和元年9月〕3名
- 櫻井 博文(88歳) 行方市
- 根本 正雄(91歳) 土浦市
- 塙 治雄(85歳) 水戸市
- 〔令和元年10月〕10名
- 小宮得太郎(91歳) つくば市
- 松本 和夫(90歳) 筑西市
- 原田富士夫(90歳) 水戸市
- 市村 勇二(88歳) ひたちなか市
- 茂垣 慶一(69歳) 水戸市
- 斉藤 末雄(88歳) 結城市
- 根本 金寿(91歳) 高萩市
- 田村 文夫(83歳) 坂東市
- 野末 年宏(82歳) 水戸市
- 大武志つ(91歳) 筑西市
- 〔令和元年11月〕5名
- 益子 正(88歳) 那珂市
- 谷部 順一(79歳) 大子町
- 吉成 義克(83歳) 常陸太田市
- 米永 勇吉(90歳) 鹿兒島県指宿市
- 大久保雅史(82歳) 水戸市

お知らせ

会員録追録の発行

令和1年12月1日現在で作成した新会員や物故者等の追録をお送りします。住所、電話番号等の欄が空欄となっているのは、本人のご意向によるものとご理解ください。

なお、平成25年12月現在発行の会員録及び平成26年からの追録において住所、氏名、電話番号等に変更があった方は、事務局までご連絡ください。
書籍の寄贈

昨年の1月水戸支部講演会(福祉大学)で講師を務めた那珂市歴史民族資料館館長で水戸史学会理事仲田正一さんの著書「吉田松陰と水戸」が水戸支部から寄贈されました。シニアサロンにお越しの際は、ぜひご覧ください。
年会費納入のお願い

今年度の年会費が未納の方は、お早めに納入されますようお願いいたします。「払込取扱票」をお持ちでない方は、事務局までご連絡ください。

協力依頼

会費納入を口座振替に!!

友の会の経費削減にご協力を昨年4月郵便局の払込手数料が大幅に値上げされました。つきましては、友の会の経費節約のため、郵便局払込みの会員の皆様で常陽銀行に口座をお持ちの方は、会費の納入を口座振替にお願いいたします。詳しくは事務局までご連絡して下さい。

Tel 029-301-6250

加入のすすめ

アフラックの「がん保険」と「医療保険」

ご計画に合わせた保障内容・保険料等をご提案いたします。

お申し込み、お問い合わせは左記へ直接お電話を。その際は「茨城県庁友の会」と一言添えてください。

三井住友トラスト・ライフ
パートナーズ(株)

保険営業第三部 友の会担当 小寺 茂

Tel 0120-357-212

JR東日本「大人の休日倶楽部」

年会費は掛かりますが「ジパング」なら、JRを20%割引で利用できるほか、期間限定ですが、会員向けの割安な切符が好評です。

申し込まれる方は、事務局までお電話ください。申込書をお送りします。

なお、申込書は、直接JRへお願いします。

楽天損害保険のスーパージャンプ

県庁友の会保険センターがお勧めしています。楽天損害保険の満期戻火災保険です。掛け捨て型の保険の更新を機に、この満期戻戻金の楽しみがある積立型火災保険への加入を検討されては如何でしょうか。

また、地震保険の加入は、火災保険の契約期間の途中からでもお取り扱いできますので、ご連絡ください。

県庁友の会保険センター
担当 箭原(やはら) 和子

Tel 029-301-0201

原稿募集

「会報・会員のひろば」の原稿を募集しています。日頃の雑感や健康、趣味、旅行など題材は自由です。800

字以内(関連写真を添付)での投稿をお待ちしております。掲載は、盛夏号(7月1日発行)になります。

会報は、会員と会員をつなぐ情報誌です。友の会本部・支部の事業や趣味の会に参加できない会員の皆様、ぜひとも、近況報告も兼ねまして、「会員のひろば」に投稿をよろしく願います。5月15日(金)までに、事務局までお願いします。

〒310-8555 水戸市笠原町

978-6 県庁福利厚生棟2階

Tel & FAX 029-301-6250

メール ikumonokai-j@bz01.pala.or.jp

編集後記

◇令和初めの「新年号特別企画」とし、恒例の「年の初めに思うこと」で子年の多くの先輩方から貴重なメッセージをいただき、ありがとうございます。

◇「知ってますか」で相続シリーズ第2弾として相続のトラブルを避けるために、必要な遺言について取り上げてみました。思いを形に残してはどうでしょうか。相続対策に関し2回にわたり野村證券にご協力いただきました。相続対策でご用のある方は、直接お電話で問い合わせ下さい。相続セミナーの参加や相続ガイドブックの取り寄せ等もできます。

◇新規会員の加入が年々減少しております。友の会の事業運営等についてあり方検討会で検討しておりますが、加入促進には、会員皆様の直接の声かけや参加したいという魅力的な事業活動が有効かと考えています。会員の皆様からもぜひともご意見・ご助言をお願いいたします。(よ)

第32回
茨城県方友の会
美術展
のお知らせ

会 期 令和2年2月6日〔木〕～11日〔火・祝日〕

開催時間 午前9時30分～午後5時まで
(最終日／午後2時まで)

会 場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 / 2階県民
(茨城県立県民文化センター) ギャラリー

作 品 写真 / 絵画 / 書 / 工芸

[第31回美術展会場スナップ]



○是非皆様お誘い合せのうえ、ご鑑賞ください。お待ちしております。

茨城の豆知識

いばらき早わかりガイド

いばき
令和元年11月1日現在

主要な項目

人口	2,877千人	全国 第11位(H30.10.1)
可住地面積	3,975.12km ²	全国 第4位(H29.10.1)
1人当たりの県民所得	3,079千円	全国 第10位(H27年度)
工場立地面積	1,139ha	全国 第1位 (10年間 累計[H21～H30年])
製造品出荷額等	12兆2795億円	全国 第7位(H29)
農業産出額	4,967億円	全国 第3位(H29)
海面の漁獲量	225,313t	全国 第3位(H27年)
つくばの研究者数	20,758人	うち博士号保持者7,995人(H29.6.20)
耕地面積割合	27.2%	全国 第1位(H30.7.15)
住宅敷地面積(1住宅当たり)	424.79m ²	全国 第1位(H25.10.1)
道路実延長	55,815km	全国 第2位(H29.4.1)
高齢者近住率*	73.9%	全国 第3位(H28)

*子どもが同居、同一家屋、同一敷地及び近隣地域に住んでいる65歳以上人口の割合

産業拠点

●本県の工場立地動向

		H26	H27	H28	H29	H30
面積	ha	115	113	140	87	147
	順位	1	1	1	5	1
件数	件	77	84	44	46	68
	順位	1	1	6	5	3
県外企業 立地件数	件		50	22	30	34
	順位		1	2	1	1

●各産業拠点

日立	電機・機械産業等の集積	●日立製作所の協力企業を中心に約1,073社
東海	原子力研究機関の集積	●日本原子力研究開発機構 ●東京大学、茨城大学など ●J-PARC(大強度陽子加速器施設) (H20年12月稼働) ニュートリノや物質・生命科学の研究において世界をリード 茨城県でも物質・生命科学分野の実験装置を整備
つくば	研究機関等の集積	●国等の教育・研究機関：29機関 ●つくば国際戦略総合特区の指定(H23.12.22) 次世代がん治療や生活支援ロボットの実用化等を推進
鹿島	素材産業の集積	●鉄鋼や石油化学産業等の企業173社 (R1.11.1)

豊富な農林水産物

●全国に誇る主要農林水産物 (品目別産出額：H29)

全国第1位	全国第2位	全国第3位
鶏卵、かんしょ、はくさい、メロン、れんこん、ピーマン、ほしいも、みずな、こまつな、切り枝、チンゲンサイ、芝、くり、セリ	レタス、梨、らっかせい	ねぎ、にら、スイートコーン、こぼろ、かぼちゃ、しゅんぎく、しそ、らっきょう、みつば、そらまめ、マッシュルーム、こんにゃくいも
えび類(内水面)、まいわし、さば類、あゆ、こい(養殖)	しらうお、はぜ類	わかさぎ、こい(内水面)

(注)水産物は漁獲量で比較

●東京都中央卸売市場における茨城県産青果物のシェア(取扱高) → 15年連続 第1位 (H16～H30)

広域交通ネットワーク等

つくばエクスプレス	つくば～秋葉原→45分
常磐線	水戸～東京→72分、水戸～品川→80分
茨城空港	国内線 札幌便【毎日2便】 神戸便【毎日3便】 福岡便【毎日1便】 那覇便【毎日1便】
	国際線 上海便【週4便(月・金・土・日=1便)】 西安便【週4便(火・木・土・日=1便)】 台北便【週2便(日・木=1便)】
	連続チャーター 長春便【週3便(火・木・土=1便)】※11/12から運航 福州便【週3便(火・金・日=1便)】※12/3から運航
	北米定期コンテナ航路 北米西岸(バンクーバー・タコマ等)【月2便】 韓国・中国定期コンテナ航路(釜山・上海等)【週3便】 韓国定期コンテナ航路(釜山)【週1便】 国際フェリーター航路【週2便】 (横浜港・東京港において各国主要航路と接続) ・北海道との定期航路 苫小牧・釧路【週31便】 ・九州との定期航路 清水・大分【週1便】 ※主な航路のみ記載
茨城港 (23航路)	・韓国定期コンテナ航路(釜山)【週1便】 ・国際フェリーター航路【週3便】 (横浜港・東京港において各国主要航路と接続)
鹿島港 (3航路)	

●いばらきブロードバンドネットワーク (IBBN)

- ◆県及び県内全市町村を最大10ギガビット/秒で結ぶ高速大容量の情報通信基盤(全国トップレベル)
- ◆民間企業に無償で開放 (R1.11.1現在142社利用承認済)
- ◆テレビ会議システムの構築などによりがん医療を支援

保健・福祉・医療の充実

- 高齢者をはじめとする県民の健康づくり
 - ◆「シルバーリハビリ体操指導士」養成
 - 養成者数 累計 9,043人(R1.11.1)
 - ◆高齢者健康アップ優待制度
 - 高齢者の積極的な外出を促進するための高齢者優待カード(いばらきシニアカード)の発行・配布 協賛店舗数：4,343店舗(R1.11.1)
- 少子化対策
 - ◆「いばらき出会いサポートセンター」の成婚数：2,150組 (R1.10末)
 - ◆子育て家庭優待制度の実施(H19.10～)協賛店舗数：5,775店舗 (R1.11.1)
- 医療対策
 - ◆医師確保の推進
 - 医師不足緊急対策行動宣言による抜本的な医師確保対策 (H30～)
 - ・「いばらき医療大使を任命」知事を先頭に足で稼ぐ「営業」を展開
 - ・「都道府県初、在学中実習金利ゼロ」医学部進学者向け教育ローンを創設
 - ・「子育て医師をみんなで応援」病児保育支援体制を県内全域に拡大
 - ・「医志の実現を全力で応援」修学資金貸与制度の返還免除要件を大幅に緩和
 - ◆医療体制の充実
 - 茨城県ドクターヘリ出動件数：5,981件 (H22～30 累計)
 - 他県ドクターヘリとの連携も実施(千葉県ヘリ、栃木県ヘリ、福島県ヘリ)
 - 県立中央病院ががんゲノム医療連携病院に指定 (H30.10)
 - 県立睡眠医療クリニックを開設 (H28.12)

安心・安全で快適な生活環境づくり

- 安心・安全な暮らしの実現
 - ◆防犯ボランティア団体：1,031団体、63,534人(H30末)
 - ◆青色防犯パトロール団体：217団体、1,111台(H30末)
- 地球温暖化対策
 - ◆茨城エコ事業所登録制度：登録数2,021事業所(R1.11.1)
 - ◆レジ袋無料配布中止の取組店舗数：650店舗(H31.3末)
- 水質保全対策
 - ◆「霞ヶ浦(西浦・北浦・常陸利根川)」(湖面積が全国第2位)
 - ◆「霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画(第7期)」に基づく水質保全対策の実施
 - ◆森林湖沼環境税を財源として、水質保全対策を強化 (H20年度～)
- 再生可能エネルギーの導入 (合計3,052,104kW H31.3)
 - ◆太陽光発電/住宅用設備容量：231,682kW
非住宅用設備容量：2,609,174kW
 - ◆風力発電/設備容量：25,280kW
 - ◆バイオマス発電/設備容量：179,648kW
 - ◆中小水力発電/設備容量：6,319kW

いばらきの未来を担う人づくり

- 学力向上
 - ◆全国学力・学習状況調査で10分野のうち9分野で全国の平均正答率を上回る【H30】
(単位：%)
- | | 小学校6年生 | | 中学校3年生 | | |
|-----|--------|------|--------|------|------|
| | 国語 | 算数 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 茨城県 | 66 | 66 | 75 | 60 | 56 |
| 全国 | 63.8 | 66.6 | 72.8 | 66.1 | 56.0 |
- 県独自の方式により少人数の学級編制や複数教員による指導(ティームティーチング)を実施
 - 夏休みや朝の自習などで算数・数学の基礎学力を付けるための「学びの広場」を実施：実施率100%
 - 文化・スポーツ活動
 - ◆全国体力・運動能力・運動習慣等調査で全国トップクラス (全国順位)
- | | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 |
|-------|--------|-----|-----|-----|-----|
| 中学2年生 | (男子) 2 | 2 | 1 | 2 | 2 |
| | (女子) 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 小学5年生 | (男子) 3 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| | (女子) 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
- ◆県立の美術館(6館)・博物館の利用者数：年間117万人 (H30)
 - 自主性・自立性の育成
 - ◆読書活動の推進「みんなにすめたい一冊の本」
 - 年間に50冊以上の本を読んだ児童の割合(小学4～6年生)：76.0% (H30)
 - ◆いばらき版高等学校「道徳」教育
 - 全国に先駆けて、高校1年生で「道徳」、2年生で「道徳プラス」の授業を実施
 - ◆お手伝い・ボランティアの奨励
 - 家庭で週4日以上、お手伝いをしている小学1年生の割合：62.3% (H30)
 - 郷土愛の育成
 - ◆楽しみながら茨城を知る「いばらき郷土検定」
 - 県内中学2年生24,031人、234校が参加(参加校率89.3%) (H30)
 - 県民一体となった教育の推進
 - ◆いばらき教育の日(11月1日)・教育月間(11月) 参加人数延べ327万人 (H30)

茨城県公式サイト
最新の県政情報!!満載
<https://pref.ibaraki.jp/>



※ 県政ホットニュース
▶ お知らせ・募集
⚡ 災害・防災情報
🏥 救急医療案内
📺 観光イベント情報 など

凜として生きたい。そう願う皆さまに敬意をもって
快適な暮らしをご提供させていただきます。

～緑豊かな約9000坪の敷地の中で、ゆったりと過ごす時間が元氣をつけます～



四季折々の草花に囲まれたローズヴィラ水戸は、ご入居者様はもちろん、ご家族様にもご満足いただけるような心豊かな終の棲家をご提供いたします。
私達スタッフ一同、心のこもったサービスをお届けしております。

◆入居一時金(1年方式)◆

○一般居室棟 196万円より (その他、5年、10年方式あり)

○介護居室棟 282万円 (その他、3年、5年方式あり)

*一般居室棟5年方式、介護居室棟3年方式は、86歳以上の方の優遇プラン

介護付有料老人ホーム ローズヴィラ水戸

公益社団法人全国有料老人ホーム協会正会員 一般財団法人 安寿苑

〒310-0903 水戸市堀町1444-1 電話 029-254-8111

ホームページ <http://www.rosevilla-mito.org> (ご入居相談担当: 広木)